

総括

■ 種別

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および2月16日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」認定

■ 改善要望事項

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は開設以降、スポーツ医学から一般整形外科、リハビリテーション医療を視野に入れ、療養病棟を回復期リハビリテーション病棟に転換して発展されてきた。また、中河内圏域地域リハビリテーション地域支援センターに指定され、地域のリハビリテーション医療の中核病院として機能している。臨床においても質の高い医療を展開されており、病院機能評価（本体機能）のみならず、付加機能（リハビリテーション機能）で認定されており、さらに質の高いリハビリテーション医療を提供するべく日頃から取り組まれている。

今回、病院機能評価の高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」の更新受審となった。医療の質向上に向けて、主体的に取り組まれている姿勢が随所で確認できたが、さらなる取り組みが必要な課題については全職員が一丸となって検討され、今後の貴院の一層の発展へと繋がられることを期待したい。

2. 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

病院の理念や基本方針は明確である。充実したリハビリテーション・ケアを提供できる職員を配置し、回復期リハビリテーション病棟でサポートできる体制となっている。組織体制として療法士のADLゴールデンタイムへの関与についても適切である。医療安全や急変時の対応は適切である。感染対策において、多職種より構成される感染対策委員会により、マニュアル整備やサーベイランス等の取り組みが行われている。

各種データを管理し、会議やホームページ等で情報共有するほか、全国データとの比較情報も公開している。自院の課題については把握と対策検討がなされ、職員

からの意見を収集する仕組みも整備している。教育・研修については、法人本部が年間計画を立案して展開しているほか、部署ごとにも組織的な人材育成に取り組んでいる。急性期病院や退院後の介護サービス事業者との連携は円滑に行われている。自宅退院後も、自院での外来リハビリテーションや訪問リハビリテーションなどの利用により、リハビリテーション・ケア継続の仕組みが展開されている。地域サービス機関との連携に対しては、地域の医療機関や介護福祉施設のサービス提供実態の把握に努めている。

3. 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

回復期リハビリテーション病棟に配属される医師、看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、管理栄養士は専門的な役割・機能を発揮し、患者の実生活を踏まえた指導・支援を行い、チーム医療の実践に関与している。それぞれの職種は質向上に向けた活動として、自己研鑽や研修活動にも取り組んでいる。

医師は他職種とのコミュニケーションを十分とりながらリーダーシップを発揮している。医局会において専門分野における最新の知見を他の専門領域の医師と情報共有するほか、院内勉強会における講師も担っている。看護師は、収集した情報や評価をチーム目標の設定・進捗評価に提供している。介護福祉士は、入浴介助・排泄ケアなどに関与し、情報提供を行っている。理学療法部門、作業療法部門、言語聴覚療法部門では、標準的な検査・評価をマニュアルとして整備し、適切に実施・記録している。社会福祉士は、入院時から全患者で介入を開始し、専門性を発揮した活動も行われている。管理栄養士は、回復期リハビリテーション病棟に専任として配属され、実生活に応じた評価と介入を実施し、最適な食事をタイムリーに提供している。

4. チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

収集された患者情報やリスク管理に関する情報は、多職種で共有されている。FIM 評価は療法士による評価となっているが、「している ADL」を評価する FIM の視点から見直しを期待したい。初期評価に基づき、療法士が中心となってリハビリテーション総合実施計画書が作成されているが、記載方法について検討を期待したい。看護師・介護士・療法士が協働して余暇活動の充実や活動性を高める取り組みを行っているが、更衣動作について早期の対応を期待したい。患者情報の把握は、毎朝の申し送りで各職種に対して情報伝達が行われており、チームカンファレンスの内容を説明する機会として家族カンファレンスを開催している。

定期的にチームカンファレンスを開催して包括的な視点での課題整理を行っているが、各職種からの情報を統合・整理し、リハビリテーション・ケアに繋げる仕組みの構築を期待したい。各職種は専門性を発揮してリハビリテーション・ケアを実践しているが、各職種の役割などを整理して介入することを期待したい。退院へ向けて、退院支援ミーティングにより支援方針を多職種で検討し、支援の進捗確認を行っている。自宅復帰への多職種による協業は適切である。

1 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

評価判定結果

1.1	良質なリハビリテーションを提供するための体制	
1.1.1	回復期リハビリテーション病棟の運営に関する方針が明確である	II
1.1.2	良質な回復期リハビリテーション機能を発揮するために必要な人員を配置している	II
1.1.3	リハビリテーションを提供するための組織体制が確立している	II
1.2	安全で質の高いリハビリテーションを実践するための取り組み	
1.2.1	患者の安全確保に向けた体制を整備している	II
1.2.2	患者の急変時に適切に対応できる仕組みを整備している	II
1.2.3	安全で安心できる療養環境の整備に努めている	III
1.3	質改善に向けた取り組み	
1.3.1	回復期リハビリテーションの質改善に必要なデータを収集し活用している	II
1.3.2	回復期リハビリテーションに関する自院の課題の把握と対応策を検討している	II
1.3.3	回復期リハビリテーションに関する教育・研修を行っている	II
1.4	地域の医療機関等との連携とリハビリテーションの継続に向けた取り組み	
1.4.1	急性期病院と円滑に連携している	III
1.4.2	自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している	II
1.4.3	自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続に向けて施設等と円滑に連携している	II

2 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

評価判定結果

2.1	回復期リハビリテーション病棟における医師の専門性の発揮	
2.1.1	医師は専門的な役割・機能を発揮している	II
2.1.2	医師は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.1.3	医師はチーム医療の実践に適切に関与している	II
2.1.4	医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.2	回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職の専門性の発揮	
2.2.1	看護・介護職は役割・専門性を発揮している	II
2.2.2	看護・介護職は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.2.3	看護・介護職はチーム医療の実践に適切に関与している	II
2.2.4	看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.3	回復期リハビリテーション病棟における療法士の専門性の発揮	
2.3.1.P	理学療法士は役割・専門性を発揮している	II
2.3.1.0	作業療法士は役割・専門性を発揮している	II
2.3.1.S	言語聴覚士は役割・専門性を発揮している	II
2.3.2	療法士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.3.3	療法士はチーム医療の実践に適切に関与している	III
2.3.4	療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.4	回復期リハビリテーション病棟における社会福祉士の専門性の発揮	
2.4.1	社会福祉士は役割・専門性を発揮している	II
2.4.2	社会福祉士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.4.3	社会福祉士はチーム医療の実践に適切に関与している	II

2.4.4	社会福祉士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.5	回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の専門性の発揮	
2.5.1	管理栄養士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.5.2	管理栄養士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.5.3	管理栄養士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.5.4	管理栄養士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ

3 チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

評価判定結果

3.1	初期評価とリハビリテーション計画の立案	
3.1.1	初期評価を適切に行っている	Ⅲ
3.1.2	リハビリテーション計画を適切に立案している	Ⅲ
3.2	専門職による回復期リハビリテーション・ケアの実施	
3.2.1	各職種により患者に必要なリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅲ
3.2.2	リハビリテーションの進捗状況を共有している	Ⅱ
3.3	多職種による課題の共有と対応	
3.3.1	定期的な情報共有による新たな課題の評価・検討を行っている	Ⅲ
3.3.2	新たな課題の解決に向けたリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅲ
3.4	自宅復帰に向けた多職種による協働	
3.4.1	自宅復帰とその維持に必要な患者固有の課題の評価・検討を行っている	Ⅱ
3.4.2	自宅復帰とその維持に向けた課題の解決のための具体的な取り組みを行っている	Ⅱ